

令和8年3月6日

保護者様

第一中学校長 小柴 憲一

保護者会資料

1 令和8年度学級数

学年等	1年生	2年生	3年生	6組
学級数	4	3	3	3

2 令和8年度学校経営方針より

(1) めざす生徒像

- 学ぶことに興味・関心を抱く生徒
- 人前で自分を語れる表現力・発信力を身に付けた生徒
- 生徒会の一員として、委員・係・当番としての責任を果たす生徒

(2) 経営の柱

「社会を構成する一員」としての自覚をもたせるため、学級・学年・学校等の各組織の中で生徒主体の積極的な自治活動を通して社会的自立を促し、教科等の中で対話的な学び・生徒同士の学びあいの授業を展開するなど、質の高い教育を提供することにより、社会人としてふさわしい資質・能力の基盤を育成する。

(3) 具体的方策

① 学校経営

「一人一人の生徒を大事にする」を根底とし、いじめ問題の被害生徒・加害生徒、認知の偏りや障がいのある生徒、食物アレルギーのある生徒、登校が困難な生徒、要保護児童等に関し適切な対応をとるために、各主任及び担当の教員が中心となり全教員が自分事として考える。

② 学習指導

生徒自身の「予想」「感想」「思い」「考え」「考察」等、自分自身の内面を書かせたり発表させたりする学習活動を、すべての授業で導入していく。そこで、3～4人グループにおける対話や議論を重視し、成果物としてコミュニケーションアプリやホワイトボードなどを活用していく。これらの授業展開により、生徒参加型で生徒にとっては授業後に「何を学んだか」「何ができたか」「学んだことを何に活用できるか」という深い学びにつなげていく。

よって1～4組の各学級においては、清掃や給食などを分担する生活班に加えて、授業中に対話や議論をする3～4人の学習班も編成する。

③ 生活指導

「あいさつ」は人間関係を円滑にすることや、声を出すことにより対人コミュニケーションを実現させる出発点となることから「全ての基本」と言われている。よって、場に応じて相手に聞こえる程度の声の大きさのあいさつが、一人だけの場合

でもできるよう、社会性を高めていき、品のある「あいさつの中」を構築する。

④ 特別活動

人権尊重教育推進校としての研究テーマに「ウェルビーイングの向上」を掲げていることから、一人一人の生徒によって異なる学校生活への幸福感や満足感がそれぞれ高まるよう、生活の基盤となる生徒会力を高めていく。特に、幸福感や満足感を低下させる大きな要因となるいじめ行為の未然防止のため、生徒会本部で仮称「いじめ撲滅運動」展開のためのスローガンを発表し、すべての専門委員会は本部が掲げるスローガンのもと独自に強化期間を設けたり、特化した取り組みを行ったりすることにより、いじめ行為をしにくい雰囲気を作りあげるとともに、いじめ行為への同調者や傍観者をなくしていく。

3 保護者がかかわる集会等

4月17日（金）	保護者会
5月 1日（金）	部活動保護者会
7月11日（土）	オープンスクール
7月15日（水）	保護者会
7月22日（水）	三者面談始【～27日（月）】
9月 1日（火）	保護者引き渡し訓練
10月10日（土）	オープンスクール
10月28日（水）	3年生三者面談始【～11月6日（金）】
12月 1日（火）	三者面談始【～8日（火）】
12月18日（金）	保護者会
1月30日（土）	オープンスクール
3月23日（火）	保護者会

※ 教育活動等については、教務部の年間行事予定案を参照してください。ただし、現時点における予定ですので、変更になることがあります。